

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
2026年度 事業計画書
(2026年4月1日から2027年3月31日まで)

2026年度の事業計画について、次の視点から策定する。

1 会期後の確実な業務執行

2 本万博の成果の保存、継承に向けた取り組み

1 会期後の確実な業務執行

(1) 会場内施設類の撤去管理

- ア 基盤インフラ、施設等撤去工事の円滑な実施
- イ 大屋根リングの残置にかかる協議・調整
- ウ 環境影響評価の実施

(2) 適正な事務局運営の確保

- ア 各種メディアを活用した広報の継続実施
- イ 適切な組織体制の維持、人員配置の調整
- ウ コンプライアンスの徹底
- エ 各システムの安心・安全な運用に向けたサイバーセキュリティ対策の実施

(3) 予算の効果的な執行、適切な会計業務の実施

- ア 予算執行段階におけるコスト削減、収支管理
- イ 関係法令や会計基準に則った適切な決算処理の実施

(4) 公式参加者への対応

- ア 公式参加者の撤収支援、博覧会国際事務局（BIE）等との連絡調整

(5) 法人の解散・清算に向けた対応

- ア 解散・清算に伴う手続きの準備

2 本万博の成果の保存、継承に向けた取り組み

(1) リユース・財産処分に係る取り組み

- ア 大屋根リング木材リユースの推進、需要家との調整

(2) 各種記録の保存に係る取り組み

- ア 公式記録集等の制作業務の円滑な実施
- イ 各種記録の収集と保管

(3) 万博の成果の継承に係る取り組み

- ア 知的財産（協会IP：公式ロゴマークや公式キャラクター等）の管理と活用
- イ 各種イベントの企画・運営などの実施